

農業総合研究センター かわら版

第53号 平成21年10月2日 発行

山形県農業総合研究センター 研究企画部

〒990-2372 山形市みのりが丘6060-27

電話：023-647-3510

研究企画部では、編集に関する皆様からのご意見ご要望をお待ちしております。

大盛況！

りんご早生有望新品種「ファーストレディ」研修会

～園芸試験場～

8月25日、園芸試験場を会場に、当試験場で育成した早生りんごの新品種「ファーストレディ」研修会が盛大に開催されました。

「ファーストレディ」は8月下旬～9月上旬に収穫できることから、収穫期に合わせて開催したものです。「つがる」は着色がしにくいことや果肉の軟化が毎年問題となるため、「つがる」に変わる新品種として期待されています。

当日は天候にも恵まれ、生産者の関心の高さを反映して、200名を超える参加者がありました。

試食もあり、意見交換では落果防止剤の使用方法、摘果の時期や程度、果実の日持ちなど、多くの質問があり、生産者のこの品種に対する期待の高さがうかがわれました。

「ファーストレディ」はこの秋から苗木販売が開始されます。園芸試験場では、早期成園化と安定生産技術の確立に向け、現地実証ほを引き受けてくれている19名の生産者や各生産組織等と連携しながら、技術開発に全力で取り組んでいます。



「平忠勝」産子市場出荷セレモニー

～畜産試験場～

吉村知事はじめ多数の来賓が出席して、9月9日に新庄市のJA全農山形最上家畜市場において、県産種雄牛「平忠勝」の産子市場出荷セレモニーが盛大に開催されました。

セレモニーに先立ち、家畜市場の入り口に建てられた「平忠勝」PR用看板の除幕式が行われました。

セレモニーで吉村知事は、あいさつの後「平忠勝」をはじめ現在活躍中の県産種雄牛の繁殖者及び育成者6名に感謝状と記念品を贈呈し、「平忠勝」産子へのたすき掛けを行いました。

「平忠勝」は質・量ともに全国トップクラスの評価の高い期待の種雄牛で、この日はセレモニーの後に行われた子牛市場で雌子牛29頭、去勢子牛28頭がセリにかけられました。そして、約2年後には枝肉となって市場に出荷されることになります。



西洋なし大果変異プロジェクトのキックオフミーティングを開催

～園芸試験場～

バイオ育種科では今年度から名古屋大学、理化学研究所と共同で、西洋なしの大きい果実をつける枝変わりの原因を探るプロジェクトをスタートしています。このプロジェクトの今後の研究戦略を話し合うキックオフミーティングが、8月18日～19日の2日間に渡って園芸試験場で開催されました。

1日目は試験場内で、各参画研究機関から研究計画の紹介と、サンプリング方法などの討議が行われ、熱い議論が交わされました。



上山市の現地農家視察の様子

2日目は試験場の栽培ほ場や西洋なし他の原木ほ場と、枝変わり系統が見つかった上山市の現地農家の視察を行いました（写真上）。この系統は、もとのラ・フランスと比べて約1.8倍（写真下右）の大きさになるために、他の参画機関の研究者も、初めて見る実物の大きさに目を丸くしていました。

県内では他に4系統の大果変異を確認しています。他に果実サイズが大きくなる、または小さくなる西洋なしの枝変わりがありましたら、バイオ育種科までご一報ください。



普通のラ・フランス（左）と大果変異ラ・フランス（右）との比較

第8回山形県科学技術奨励賞 授賞

～研究企画部～

平成21年8月27日に第8回山形県科学技術奨励賞授与式及び記念講演が開催され、当センター園芸試験場バイオ育種科の高品善専門研究員が同賞を受賞しました。

この表彰は、科学技術に関して優れた研究成果をあげた県内の若手研究者を表彰し、研究意欲の向上を図るとともに、将来の研究者の確保に資することを目的としており、吉村知事より表彰状と副賞のレリーフが授与されました。

高品専門研究員の受賞理由として、本県特産農作物であるおうとうのDNA品種識別技術およびDNAマーカーを開発したことにより、本県の知的財産であるおうとう品種の権利保護に貢献したとされております。

